

都市再生整備計画（第4回変更）

とちお「謙信」地区

にいがた ながおか し  
新潟県 長岡市

平成24年3月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	新潟	市町村名	長岡	地区名	とちお「謙信」地区	面積	164 ha
計画期間	平成	19	年度	～	平成	23	年度
				交付期間	平成	19	年度
					平成	23	年度

### 目標

- 大目標：多様なまちづくり主体の持続的な活動の実践と、栃尾の歴史・生活・文化、地域資源等を活かした拠点整備による誇りと活力あるまちづくり
- 目標1：栃尾らしさの醸成に向けた多様なまちづくり主体による持続的な活動を促す仕組みづくり
- 目標2：謙信公ゆかりの資源の活用等による求心性のある舞台づくり
- 目標3：来訪者を呼び込むための仕掛けづくりと、交流空間の創出によるにぎわいづくり

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

- ・旧栃尾市は上杉謙信公旗揚げの地として全国的に名を知られ、栃尾城跡をはじめとした謙信公ゆかりの遺構や遺品が数多く残されている。また、雪国特有の建築様式であり独自の地域景観を醸し出している『雁木』は栃尾の地域資源として、今でも街並みとの調和を保ちながら大切に保存されている。しかし、旧栃尾市は主産業であった繊維産業が衰退し、中心市街地では工場跡などの遊休施設が目立つようになった。また、併せて世帯の高齢化が進み、人口と施設の空洞化が顕著である。そのため、地域の資源を活かした市街地の環境整備および都市活力の向上に向けた取り組みが求められている。
- ・そのような中、雁木を活かしたまちおこしを行おうと、平成9年から新潟大学工学部、地元町内会（表町）、長岡市（当時は栃尾市）らの協働により、地域との調和を残しながらデザインされた看板や雁木を街並みのシンボルとして残そうと雁木づくりのプロジェクトが行われてきた。この活動は、地域住民と交流する中で発現されたアイデアをデザインとして作品に取り込み、学生が提案し、住民と学生とが手作りで製作、設置を行う活動であり、現在もその活動は継続している。
- ・この活動が評価され、平成13年度には国土交通省の「手づくり郷土賞」、平成14年度には総務省の「地域づくり総務大臣賞」を受賞することができた。また、平成17年度には大学側からの申し出により旧栃尾市と新潟大学工学部の間で相互交流協定が締結された。
- ・また、平成17年度には全国都市再生モデル調査を実施し、学識経験者や地域住民等により構成された委員会を通じて『謙信の里づくり』『雁木空間形成』計画を策定すると共に、これらの計画と連携・調整を図る中で「栃尾市中心市街地活性化基本計画」を同時期に策定している。その後、平成18年7月には栃尾商工会において「長岡市栃尾地域TMO構想」が策定されている。
- ・上記活動を進める中において、上杉謙信ゆかりの地であり地域のシンボルの公園である「秋葉公園」を中心として、これまで蓄積してきたまちづくり手法を活かし、教育（幼稚園、保育園や小学校）や社会資本（公園、道路など）の環境向上に取り組むことを目的として、NPO法人「緑うるおう栃尾を育む会」が設立されるなど地域住民等を主体としたまちづくり活動も展開されている。
- ・当該都市再生整備計画については、平成17年度に検討された『謙信の里づくり』『雁木空間形成』計画の内容を基本としつつ、学識経験者やNPO代表等を含む地域住民により構成された「謙信の里づくり都市再生整備計画検討委員会」に諮る中で策定している。

#### 課題

- ・昭和後期～平成初頭に整備された中心商店街が景気の低迷や後継者不足により廃業が相次ぎ、活気の低下や殺風景な街並み景観となっている。
- ・栃尾の誇りであり歴史的な資産である『上杉謙信公ゆかりの遺構や遺品』『雁木』を最大限に活かし、地域の活性化や来訪者のまちなか誘導を図る必要がある。
- ・「住民参加」という概念から脱却し、様々な団体や個人、公的機関が計画から参画し、実行・管理までを主体的に行うという「協働」の概念によるまちづくりを目指すため、まずは情報交換、情報集積、情報発信などを一元的に行うことのできるまちづくり拠点の整備、および住民等を主体とした持続的な活動に向けた支援を行う必要がある。
- ・また、各種環境整備を行うにあたっては、新規の箱物を作るのではなく、既存ストックを最大限利用した形を目指すものとする。

#### 将来ビジョン（中長期）

- ・第6次栃尾市総合計画においては、住民のまちづくり活動を支援し地域の特性や栃尾の風情を活かしたまちなみ形成の促進、秋葉公園および栃尾城址の整備、および住民と協力団体、行政の連携による雁木を活かしたまちづくりの推進を図るとされている。
- ・栃尾都市計画区域の整備、開発及び保全の方針において、谷内地区ではゆとりある市街地の形成、商業環境の改善、地域の歴史を活かした景観形成、交流人口の拡大などの観点から、にぎわいと快適さの持続する都市づくりが求められている。また、表町では雁木の街並みの保全・活用を進め、魅力のある景観を有する商業地の形成が求められている。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
まちづくり活動参加者数	人	「謙信の里づくり」、「雁木空間形成」等に関連する地域住民等を主体としたまちづくり協働主体数	雁木づくり活動の拠点づくりや、謙信公ゆかりの地を舞台とした持続的なまちづくり活動を促す仕掛けづくり等によるまちづくり活動参加者数の増加	260人	H18	290人	H23
街なか来訪者数	人	本地区を舞台として開催される祭り・イベントへの参加者数、及び施設や拠点への来訪者数	アクセスルートの確保や伝統的な祭りの活性化、謙信物語の醸成による来訪者数の増加	44,600人	H17	49,000人	H23
「城山」に対する関心度	%	謙信公旗揚げの場である栃尾城跡が残る「城山」に対する地域住民の関心度（アンケート調査による）	謙信公ゆかりの地を舞台とした持続的なまちづくり活動などを通じた地域住民の関心（意識）の高まり	60%	H18	70%	H23
「城山」に対する関わり度	%	「城山」の維持・管理活動への関わり度（アンケート調査による）	謙信公ゆかりの地を舞台とした持続的なまちづくり活動を促す仕掛けづくり等を通じた地域住民の関わり方（活動の質）の向上	3%	H18	5%	H23
「秋葉公園」に対する関心度	%	上杉謙信ゆかりの地であり地域のシンボルの公園である「秋葉公園」に対する地域住民の関心度（アンケート調査による）	謙信公ゆかりの地を舞台とした持続的なまちづくり活動等を通じた地域住民の関心（意識）の高まり	60%	H18	70%	H23
「秋葉公園」に対する関わり度	%	「秋葉公園」の維持・管理活動への関わり度（アンケート調査による）	謙信公ゆかりの地を舞台とした持続的なまちづくり活動を促す仕掛けづくり等を通じた地域住民の関わり方（活動の質）の向上	7%	H18	10%	H23
「雁木」に対する関心度	%	栃尾の誇りであり歴史的な資産である「雁木」に対する地域住民の関心度（アンケート調査による）	雁木づくり活動の拠点づくり等を通じた地域住民の関心（意識）の高まり	60%	H18	70%	H23

## とちお「謙信」地区(新潟県長岡市) 整備方針概要図

目標	大目標: 多様なまちづくり主体の持続的な活動の実践と、栃尾の歴史・生活・文化、地域資源等を活かした拠点整備による誇りと活力あるまちづくり	代表的な指標	まちづくり活動参加者数 (人)	260 (18年度) → 290 (23年度)
			街なか来訪者数 (人)	44,600 (17年度) → 49,000 (23年度)
			「城山」に対する関心度 (%)	60 (18年度) → 70 (23年度)

